

銀の輔銀座四枚



銀座八丁目には八兆の思い出がある……てのは大袈裟だけど、一丁目ならル・テアトル銀座、っていうよりテアトル東京。一番電車に乗ってスター・ウォーズ見たっけね。もっと古い鈴木ビルと奥野ビルは残ってるのに……。

二丁目だったら前の伊東屋。僕は下から順繰りに眺めて、一番上の喫茶店でホットドッグを食べるんだ。ポテトチップスが付いるの。竹田ビルのルノアールも素敵だったと、過去形で言わなくちゃならないのが悲しい。

三丁目はオムライスかなあ、煉瓦亭。ハムライスも好きだし、その後河岸を変えてみかわやに通ったりもしたけど、最初に洋食屋を意識したところ。そうそう、僕が初めて訪問した出版社はマガジンハウスだったっけ。

四丁目なら歌舞伎座三階のカレースタンドさ。でもカレージゃなくて、開演前のコーヒージャケット、しかも森永チョコイスっていうナイスチョコイス。二階でお茶はしても、座るのは三階席って日々でありました。

高野金次郎商店

親切第一 平成28年4月写真展号

版元：東京ペンギン堂本舗・高野ひろし 豊島区北本塚2-26-2
 fax:03-3917-1949 RXM04421@nifty.com
 協力：千駄木電腦研究所、築地河岸工房
 関連ウェブ：各種検索エンジンで「東京ペンギン堂本舗」検索すると
 関連ウェブに辿り着けます。http://jpg.arrow.jp/

勝手にお気に入り5

- ふと思いつく銀座の物件
- 泰明小学校前にあった頃の月光荘とおじさん
- タイガー食堂のアジフライと日本人離れたラスター
- 買わないのに何故か滞留してしまうイエナ
- 松坂屋地下の万惣フルーツ
- パラーのフルーツポンチ
- 伊東屋のメルシー券

銀の輔銀座もう四枚

五丁目はシネパトスと鳩居堂の匂い。地下鉄浅草駅の横の飲み屋街に近い匂いがしたシネパトス、へなちょこな映画をよく見たなあ。鳩居堂に入ると、ああ京都に行きたいって思うんだ。目を瞑ればいいか？

六丁目と言えば新橋演舞場、これもやっぱり前の建物。ごちんまりして、係のおぼちゃんも親切でね、「夜の部も見ると、居てもいいよ」って。朝日ビルの地下の、隠れ家みたいな郵便局も楽しかったっけ。

七丁目だったらやっぱり竹川画廊かな。七丁目七番地七号、モンドリアン風な輪郭の全面ガラス窓がお洒落でモダンだったけど、僕が訪ねた時には、もう消える寸前だった。じつくり名残惜しませて貰ったんだ。

八丁目には転居を繰り返した月光荘、壊されずに踏ん張る中銀クラブセンタービルが、僕を和ませてくれる。思い出の反芻は金春湯？それとも一丁目に戻って銀座湯？いやあ、どっかで一杯でしょうよ！



昼下がり築地とやらをゆるゆると その一

写真展にかこつけて、会場ふげん社皮切りに、軽く築地をゆる歩き、築地警察隙間に見える、中央区役所A年季入り、真に図書館その地下に、良き郷土資料でんこ盛り、振り向きさまの電通ビルBは、丹下健三設計だけど、もぬけの殻の解体待ちか、一歳年上築半世紀、区役所元氣に現役勤め、大隈講堂設計者、佐藤武夫の作品で、歩み進めりや平成通り、角の宮川食鳥鶏卵C、創業明治で建物は、昭和四年の緑青も、見事な看板建築で、鶏肉更に文句なし、合鴨鍋も鶏鍋も、行列必至の人気店、白衣の人々鶏さばく、風景もまた名物か、隣も宮川こっちは鱈平成通りを横切って、場所柄寿司屋も多いけど、築地八竹大阪館で、手前の路地を左折すりゃ、古い仕舞屋枇杷の葉茂り、一本裏には古手の民家、移築黒澤D鉄板焼きと、曲がる細道魅惑の小道、スイス

の支店はカツカレー、更に裏には新鮮で、旨い果物野菜が並ぶ、築地万英E良き八百屋、いつも元気なお兄さん、またまた

通りに戻ったならば、素通り出来ない木村屋Fは、銀座木村屋暖簾分け、創業明治のアンパン各種、舌に懐かしハイカラ風味、新大橋通りの角に立つ。通り渡れば同じ道、聖ルカ通りGと名付けられ、由緒正しき歴史街、その先達は明石町、赤穂浅野家屋敷跡H、すぐお隣は芥川、龍之介さん生誕地、時空を越えて近所と、でもすぐ養子になったのが、本所に住んでる伯母さん宅で、目と鼻の先は松坂町、古良家屋敷がある所、赤穂事件の深き縁、ふと見あげれば聖路加病院I、明治の御代は居留地エリア、教会みたいな本館の、初期設計者はレ

モンド、遅れ気味なる建築界を、育て見守り弟子多く、銀座で言えば教文館、病院見学出来ないけれど、本屋だったら大丈夫、先程チラ見の区役所を、設計佐藤先生が、亡くなったのも聖路加で、縁は

どこまで続くやら、前庭記念碑だらけにて、立教明学慶應義塾、有名大学発祥地、更に蘭学事始め、裏に回って交差点、向かいには外人居留地の、煉瓦残りしモニュメント、日本最初のガス灯Jを、胸をそらして教えてる、その向かいには築地教会K、見た目コンクリ中木造、礼拝堂の趣も、慈愛に満ちて暖かく、踵返して聖路加ガーデン、抜けて再びルカ通り、文明開化の風感じ。

タイムドーム明石L目の前で、プラネタリウムも備えたる、区立の郷土天文館、銀座築地に日本橋、歴史と伝統重ねたる、区の成り立ちや横顔を、資料やジオラマ地図駆使し、楽しく見せる資料館、なかでも長谷川時雨のエリア、充実満載有りがたく、日本橋的マドンナか？、右折で居留地中央通りM、公園先を右曲がりゃ、誰でも入れる社

区役所A年季入り、真に図書館その地下に、良き郷土資料でんこ盛り、振り向きさまの電通ビルBは、丹下健三設計だけど、もぬけの殻の解体待ちか、一歳年上築半世紀、区役所元氣に現役勤め、大隈講堂設計者、佐藤武夫の作品で、歩み進めりや平成通り、角の宮川食鳥鶏卵C、創業明治で建物は、昭和四年の緑青も、見事な看板建築で、鶏肉更に文句なし、合鴨鍋も鶏鍋も、行列必至の人気店、白衣の人々鶏さばく、風景もまた名物か、隣も宮川こっちは鱈平成通りを横切って、場所柄寿司屋も多いけど、築地八竹大阪館で、手前の路地を左折すりゃ、古い仕舞屋枇杷の葉茂り、一本裏には古手の民家、移築黒澤D鉄板焼きと、曲がる細道魅惑の小道、スイスの支店はカツカレー、更に裏には新鮮で、旨い果物野菜が並ぶ、築地万英E良き八百屋、いつも元気なお兄さん、またまた



食あり、心も広き日刊スポーツN、モ二
 ターいつもテレビ朝で、窓際席を選んだら、
 壁這う素敵な配管を、眺め昼食優雅なり。

再び戻る居留地中央、通り向かいの道
 入り、すぐ右見れば大衆旅館O、瓦屋根
 やら木製建具、年季の入った風情にて、
 板塀前は軒先庭園、玄關脇を眺めれば、
 青いホーロー懐かしく、小田原町の住所
 版、在りし日名残を刻む家、今もホント
 に旅館なの？その先も一度通りに戻り、
 飲食店や商店が、並ぶひとつに小さなパ
 ン屋、人気オリミネベーカーズP、ハー
 ド系から調理パン、元を正せば場外の、
 老舗折り箱専門店、蛸も踊ってパンの上、
 その少し先の古き家Q、乾電気の佇まい、
 角を曲がれば現るる、板塀ひとつも美し
 き、戦前家屋が連なりて、磨きこまれた
 ガラス窓、静かに時を刻む日々、しばし
 佇みその先を、見れば今度は緑青の、色
 濃き看板建築の、棟割長屋が顔覗かせて、



この先まだまだ良き物件、点在するが
 きりが無い、別れを告げるその前に、路
 地のひとつも歩かねば、元銭湯の横すり
 抜けてR、猫の歓迎受けながら、そっと
 お邪魔と通り抜け、外壁剥がれたその奥
 に、見え隠れする煉瓦塀、古いお宅が密
 集し、どうやら空き家もそこかしこ、い
 つか更地になるならぬ、次通る時もあつ
 てくれ、願ひ細道出て左、晴海通りは目
 の前で、ふと右側のビルの隅、門前橋の
 橋名板S、いつの物かは分からぬが、江
 戸切絵図なら本願寺橋、晴海通りに出た
 ならば、小田原町交番がある角を、右に
 曲がれば駐車場、植え込みに埋まる親柱
 そこにくっきり門前橋T、通りの対岸築
 地の場外、誰でも行くから避けておき、
 振り返ったなら勝閑橋が、鉄骨勇姿を見
 せていて、向かう築地の本願寺。ライト
 アップも美しい、でもこれホントに寺な
 のか？改めて見て首傾げ、設計伊東忠太
 と聞けば、さもありなんと膝を打つ、エ

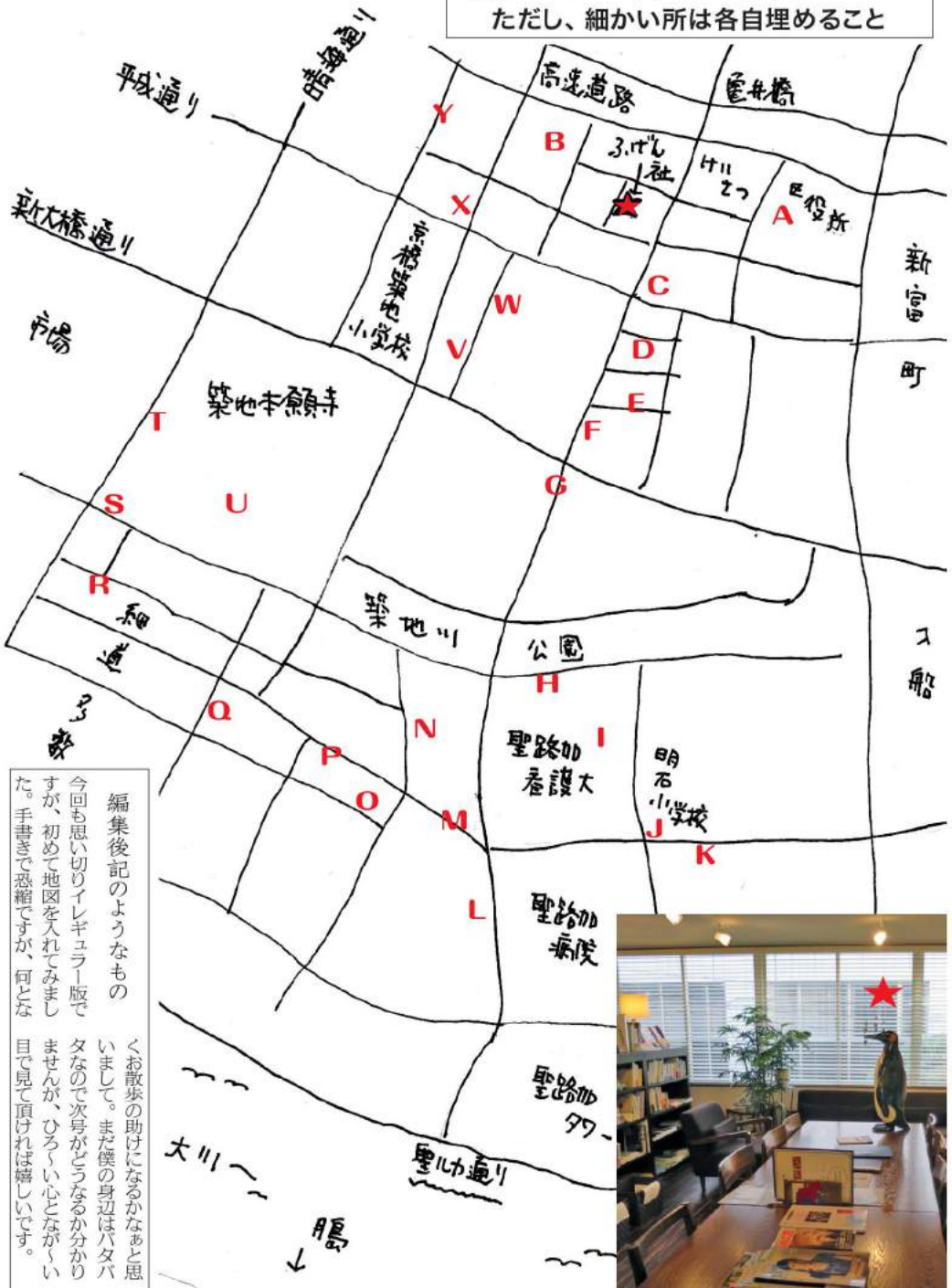
イリアンが睥睨す、両国復興記念館、仏
 閣風な祇園閣、意匠疑らずも忠太流、本
 願寺とて当てはまり、獅子馬鶏猿に象。

大通り渡り斜前道に、築地の象徴タ
 レット、店内デンと鎮座する、ターレ
 トコーヒーV一息ついて、少し進めばビ
 ル壁面、レリーフ築地小劇場W、小山西
 葉に導かれ、千田是也や滝沢修、新劇運
 動パイオニア、平成通りに出たなれば、
 向かいには十二支エンブレム、その名もえ
 とビルXその裏に、ひっそり佇む記念碑
 は、長崎奉行所オランタ通詞、本木昌造
 作りたる、築地活版製作所、国産活字の
 発祥地Y、格調高き文字を見よ。
 ててな訳で振り出しの、ふげん社★
 目の前お疲れさん、晴海通りの向こうに
 は、行かずゆるりと巡りたる、築地半分
 摘み食い、買い食いし過ぎて日が暮れる。



築地呑気散歩地図 その1

ただし、細かい所は各自理めること



編集後記のようなもの
 今回も思い切りイレギュラー版で
 すが、初めて地図を入れてみまし
 た。手書きで恐縮ですが、何とな
 くお散歩の助けになるかなと思
 いまして。また僕の身辺はバタバ
 タなので次号がどうなるか分かり
 ませんが、ひろく心とながく
 目で見て頂ければ嬉しいです。

